



2025年度 東北地理学会 春季学術大会 プログラム

(東北大学大学院環境科学研究科 共催)

1. 期 日 2025年5月17日(土)～18日(日)
2. 会 場 東北大学大学院 環境科学研究科 本館(2～4階)
〒980-8572 仙台市青葉区荒巻字青葉468-1
3. 日 程

	第一会場			第二会場		
	時刻		発表番号	時刻		発表番号
5月17日(土)	09:20～11:48	研究発表(人文①)	111～116	09:50～11:48	研究発表(自然①)	121～124
	11:48～13:20	昼休み		11:48～13:40	昼休み	
	12:00～13:00	評議会				
	13:20～16:28	研究発表(人文②)	211～217	13:40～16:28	研究発表(自然②)	221～226
	16:40～17:40	総会				
	18:00～20:00	懇親会 ※場所は下記参照				
5月18日(日)	09:30～11:58	研究発表(共通)	311～315			

4. 懇親会
日 時 5月17日(土) 18:00～20:00
会 場 みどり食堂(青葉山新キャンパス 青葉山コモンズ内)
会 費 6,000円(学生・院生 2,000円)
※ 当日、大会受付または懇親会受付にて、現金でお支払いください。
5. 交 通
仙台市営地下鉄 東西線 青葉山駅 南1出口 徒歩約3分
(仙台駅から乗車9分, 250円)
アクセス方法(環境科学研究科webページ)
<http://www.kankyo.tohoku.ac.jp/access.html>
6. 宿 泊
仙台市内のホテル等をご利用ください。
7. 昼 食
大学構内のコンビニ等が利用可能です。
※日曜日は最寄りのコンビニが休業のため、持参されることをお勧めします。

① 5月17日(土) 午前

第一会場 (人文分野) 発表 : 09:20~11:48

発表番号	開始時刻	発表時間	機器	座長	発表者 (所属)	題目
111	9:20	S 12分	P	岩動志乃夫 (東北学院大)	品田誠司(東北福祉大)	災害後のアントレプレナーの行動と事業戦略
112	9:40	S 12分	P		中嶋紀世生*(東北大)・増田聡(東北大)・柳津英敬(東北大)・稲葉雅子(東北大)	東日本大震災後の河川空間再編による地域再生の地理的効果—かわまちづくりの事例分析
113	10:00	S 12分	P		庄子凜(京都大・院)	岡山県倉敷市真備町における平成30年7月豪雨前後の住民属性変化
114	10:20	L 20分	P	磯田弦 (東北大)	山口泰史*(帝京大)・松山薫(武庫川女子大)	映画「007は二度死ぬ」ロケ地の地域づくり(続報)—鹿児島県南さつま市秋目を例に—
115	10:50	L 20分	P		堀本雅章(法政大沖縄文化研究所)	沖縄県竹富町鳩間島における観光の特色—2023年と2015年の調査を比較して
116	11:20	L 20分	P	遠藤尚 (東北学院大)	埴淵知哉*(京都大)・堀川泉(京都大・院)	クラフトビール醸造所の地域的役割—サードプレイスと社会的健康の観点から

第二会場 (自然分野) 発表 : 09:50~11:48

発表番号	開始時刻	発表時間	機器	座長	発表者 (所属)	題目
121	9:50	L 20分	P	西城潔 (宮教大)	古市剛久*(宮城教育大)・八反地剛(筑波大)	2024年7月梅雨前線に伴う大雨で発生した出羽山地周辺での斜面崩壊 Landslides around the Dewa mountains in the 2024-07 Baiu heavy rainfall
122	10:20	L 20分	P		宮城豊彦(東北学院大・名誉、地域情報カスタマイズユニット)	2008年岩手・宮城内陸地震で生じた荒砥沢地すべり移動体のスベリ面・物質・地表変形構造の一体的把握
123	10:50	L 20分	P	古市剛久 (宮教大)	古谷尊彦((株)日さく)	活褶曲山地の切土斜面に生じた地形過程
124	11:20	L 20分	P		檜垣大助*(日本工営)・柿沼隼人(弘前大・院)・郷青穎(弘前大)・川上礼央奈(岩手大・院)・S. C. Amartya(NDRI)	ネパールにおける低コスト砂防工法の施工20-25年後の状況

② 5月17日(土) 午後

第一会場 (人文分野) 発表 : 13:20~16:28

発表番号	開始時刻	発表時間	機器	座長	発表者 (所属)	題目
211	13:20	S 12分	P	埴淵知哉 (京都大)	三原昌巳(跡見学園女子大)	神奈川県における診療科別受療行動と健康管理の地域差
212	13:40	S 12分	P		山田浩久*(山形大)・山田大貴(島根大)	三次医療圏間のアクセスから見た医療観光の課題
213	14:00	L 20分	P		山田大貴*(島根大)・山田浩久(山形大)	都道府県間の旅客純移動流に対する多層ネットワーク分析
214	14:30	L 20分	P	山田浩久 (山形大)	菅井翔(東北大・院)	Node-Placeモデルを用いた新幹線駅の評価
215	15:00	L 20分	P		西原純(元静岡大)	1992年就業構造基本調査による就業者の所得分析とその方法の再検討
216	15:30	L 20分	P	山口泰史 (帝京大)	中尾太一*(東北大・院)・磯田弦(東北大)・関根良平(東北大)・中谷友樹(東北大)	市町村合併による雇用・事業者数の地域格差拡大の検討
217	16:00	L 20分	P		阿部隆(元日本女子大)	仙台市丘陵部のOuter Transitional Area

第二会場 (自然分野) 発表 : 13:40~16:28

発表番号	開始時刻	発表時間	機器	座長	発表者 (所属)	題目
221	13:40	S 12分	P	澤田康徳 (東京学芸大)	高橋信人(宮城大)	夏季モンスーン期における日本付近の前線帯変動に対応する循環場の半旬変化
222	14:00	L 20分	P		小元久仁夫(元日本大)	アルプスの氷河の地球温暖化による後退
223	14:30	L 20分	P	大月義徳 (東北大)	小松原琢(琵琶博)	活動初期の収束境界としてみた日本海東縁の活構造
224	15:00	L 20分	P		北村繁*(新潟大)・村野正景(静岡大)	火山ガラスのWDS分析からみた土器製作への火山灰利用~中米・エルサルバドル, チャルチュアバ地域のウスルタン様式土器の分析事例~
225	15:30	L 20分	P	伊藤晶文 (東北学院大)	阿子島功(元山形大)	5m格子DEMを用いた詳細地形分類図(1)
226	16:00	L 20分	P		西城潔(宮城教育大)	教員志望の学生に地形発達史をどう教えるか

③ 5月18日(日) 午前

第一会場 (共通分野)

発表 : 09:30~11:58

発表番号	開始時刻	発表時間	機器	座長	発表者 (所属)	題目
311	9:30	L 20分	P	村山良之 (東北大)	田中文理(東北大・院)	被災地における地域アイデンティティ —名取市閑上地区を事例に—
312	10:00	L 20分	P		榎引素夫(青森大)	青森市における雪対策の現状と課題をめぐる論点整理
313	10:30	L 20分	P	水本匡起 (東北福祉大)	岩船昌起(鹿児島大)	鹿児島市における桜島大噴火への自主防災組織の備え
314	11:00	L 20分	P		後藤丞* (岩手県立千厩高)・澤田康徳(東京学芸大)	進路多様校における大雨災害に関する情報活用および意識の関係
315	11:30	L 20分	P	目代邦康 (東北学院大)	八木浩司(深田地質研)	ネパール中部低ヒマラヤ帯に対する地すべり地形分布図 の作成とその意味

※研究発表 L : 発表時間20分+質疑時間8分 S : 発表時間12分+質疑時間8分 * : 口頭発表者
P : プロジェクター使用